

株主のみなさまへ

株式会社 安川電機

第105期中間ご報告

2020年3月1日 ▶ 2020年8月31日

(証券コード：6506)

株式会社 安川電機

株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

はじめに、7月に発生しました熊本県を中心とした豪雨により被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

さて2020年度中間期における当社グループの経営環境は、昨年度末から続いている新型コロナウイルス感染拡大の影響を大きく受け、グローバルに設備投資を控える動きが拡大し厳しい状況となりました。この結果、今期の業績は受注の減少影響を大きく受け、遺憾ながら前年同期に対し減収減益となりました。

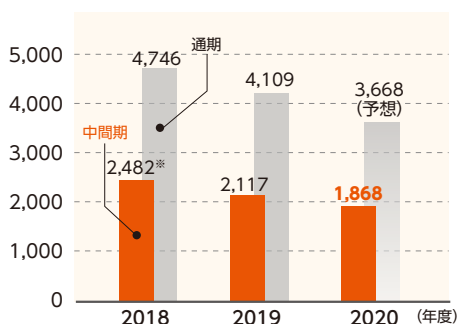
2020年度下期においては、新型コロナウイルスの感染拡大の影響に加え、米中貿易摩擦の再燃など予断を許さない状況が続きますが、その一方でモノづくりの現場における自動化・省力化のニーズは確実に拡大・進化するとともに大きく変化していく見通しです。当社グループはこの変化を柔軟かつ確実にとらえ、お客さまの利益の最大化に貢献することで、高付加価値ビジネスへの転換を目指してまいります。また、“YDX（安川デジタルトランスフォーメーション）プロジェクト”の活動を強化し、当社グループ各社の経営情報の見える化を推進するとともに、最適な経費のコントロールを実践することで、確実に利益を創出できる企業体質を作り上げていきます。

株主のみなさまにおかれましては、今後ともなお一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

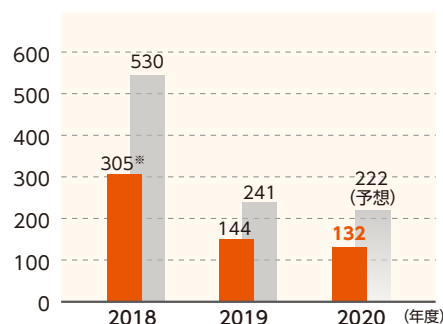
2020年11月

代表取締役社長 **小笠原 浩**

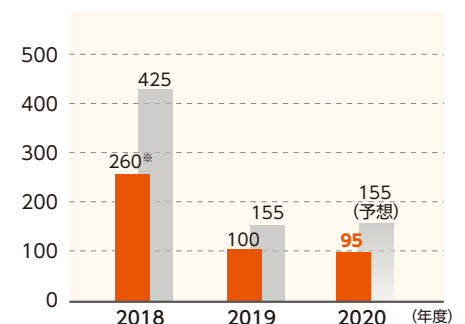
● 売上収益 (単位:億円)



● 営業利益 (単位:億円)



● 親会社の所有者に帰属する当期利益 (単位:億円)



*当社は2020年5月28日提出の有価証券報告書より、国際財務報告基準(IFRS)を適用しております。ただし、2018年度中間期の数値は日本基準にて記載しております。

セグメント別の概況

モーションコントロール

世界のニーズにこたえるモーションコントロール事業

ACサーボモータ・コントローラ、インバータなどの製品は、生産設備の高度化ニーズに応え、省エネに貢献しています。

■事業の業績

ACサーボモータ・コントローラにおいては、中国で電子部品や金属加工機向けなどの売上が伸長したことに加え、米国などで半導体関連の需要が底堅く推移するなど、売上は堅調に推移しました。

インバータにおいては、中国のインフラ関連が堅調だったものの、米国のオイル・ガス関連需要が大きく落ち込むなど、売上は減少しました。

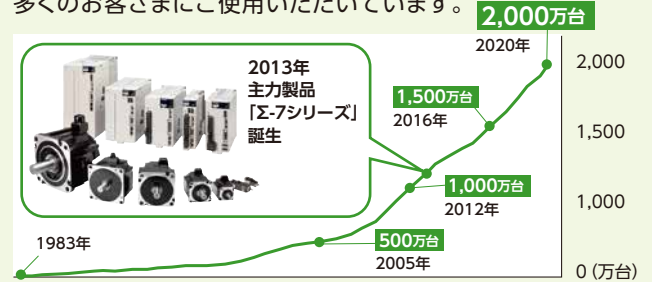
これらの結果、セグメント全体では前年同期比で減収となりましたが、中国の売上伸長に伴う収益性の改善や経費抑制の効果により営業利益は増加しました。

売上収益	前年同期比8.1%減	営業利益	前年同期比4.4%増
858億65百万円		124億31百万円	

■トピックス

ACサーボモータが 累積出荷台数2,000万台を達成

当社のACサーボモータが2020年8月に累積出荷台数2,000万台を達成しました。1983年に市場に投入。現在の主力機種である「Σ-7シリーズ」は、生産現場でのIoT化を進めるためのデータ検出機能の強化を行うなど進化を続け、国内外の多くのお客さまにご使用いただいています。



ロボット

新たな挑戦を続け進化するロボット

自動車関連市場を中心に、さまざまな産業分野において溶接、塗装、組立、搬送などの自動化に貢献しています。

■事業の業績

自動車市場においては、お客さまの工場の操業低下により設備投資が抑制され、売上は伸び悩みました。

一般産業分野では、中国の5G関連需要に加え、コロナ禍における自動化ニーズの加速を背景とした投資を積極的に行う動きがみられました。また、半導体ロボットの販売が国内や韓国などで堅調に推移しました。

セグメント全体での営業利益は、経費抑制を進めたものの売上の減少や操業度の悪化により減少しました。

売上収益	前年同期比18.9%減	営業利益	前年同期比36.7%減
653億96百万円		24億86百万円	

■新製品

半導体ウエハ搬送用クリーンロボット「SEMISTAR-GEKKO MD124D」 クリーンロボット用標準コントローラ「SR200」を販売開始

クリーンロボットSEMISTAR-GEKKO MD124Dは、ダイレクトドライブモータを採用し、従来機種より高精度・低振動な半導体ウエハ搬送を実現します。SR200は、小型・軽量化し駆動能力や拡張性を高めたクリーンロボット標準コントローラで、クリーンロボットのパフォーマンスを最大限に引き出します。



システムエンジニアリング

世界に誇る安川電機のシステム技術

1世紀にわたり培った技術と豊富な実績により、社会の安全・安心と豊かな暮らしを支えます。

■事業の業績

環境・社会システム事業においては、新製品の市場投入効果などにより太陽光発電用パワーコンディショナの販売が改善した一方、大型風力発電用電機品や上下水道用電気システム関連の売上が新型コロナウイルスの影響などで減少しました。

産業用オートメーションドライブ事業については、鉄鋼プラント関連を中心に売上は総じて堅調に推移しました。

これらの結果、セグメント全体の売上収益は国内を中心に減少したものの、営業利益は構造改革や新製品の市場投入効果などで改善しました。

売上収益	前年同期比7.2%減	営業利益	前年同期比3億77百万円改善
244億25百万円		1億95百万円	

■新製品

太陽光発電用パワーコンディショナ「XGI1500 150kW」を販売開始

太陽光発電用パワーコンディショナXGI1500 150kWはクラス最大級の出力を特長とし、産業用高圧および特別高圧案件向け分散型ソリューションとしてトータル発電コストを低減させ、太陽光発電の主力電源化に貢献します。



事業を通じた社会的価値の創造

安川グループは、長期経営計画「2025年ビジョン」において、事業を通じて社会的価値の創造を目指す5つの分野を設定し、取り組みを進めています。独自の強みを発揮することで、グローバルな社会課題である「持続可能な開発目標 (SDGs)」への貢献につなげ、持続的な企業価値の向上を目指します。

① 自動化による3K*労働からの解放



グローバルの労働人口1,000人あたりのロボット導入台数は、1台未満にとどまっており、将来の拡大余地が大きいとされています。当社は、ロボットの有効活用、工場自動化・最適化により、新たなビジネス機会・イノベーションにつなげ、3K労働を解消します。

*[きつい・汚い・危険]の頭文字であり過酷な労働環境を意味する言葉



安川ソリューションファクトリーの自動化ライン

② 省エネや環境負荷の低減



モータは各種設備・装置に使用され、世界の電力の50%以上を消費していると言われています。モータの高効率化は生産現場の省エネに直接貢献します。また、インバータはモータの回転数を最適に制御し、省エネを実現します。



PMモータ



安川インバータ
新シリーズ



マトリクスコンバータ
U1000

③ 再生可能エネルギーの普及



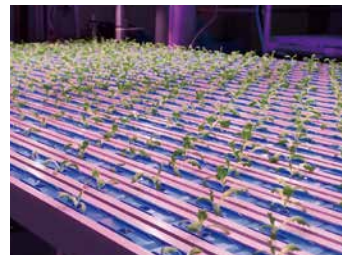
大型風力発電用発電機



太陽光発電用パワーコンディショナ

気候変動が様々な影響を引き起こすことが懸念され、発電時に温室効果ガスが発生しない再生可能エネルギーの活用が推進されています。当社は、太陽光発電用パワーコンディショナや大型風力発電用電機品の提供を通じ、再生可能エネルギーの活用拡大に貢献します。

④ 植物工場による食の安定供給



植物工場での栽培風景



農業をめぐる問題や人口増加などの影響により、地球規模で食の持続性が課題となっています。自動化技術を適用した当社グループの植物工場は、安全な無農薬野菜を安定的に生産でき、食の安心・安定供給に貢献します。

⑤ 医療・福祉分野への貢献



超高齢化社会の到来による医療・福祉現場での労働力不足のため、当社は産業自動化市場で培った技術を医療・福祉分野に応用し、アライアンスや産学官連携等オープンイノベーションの活用を通じ、先進的な医療・福祉機器市場の創造を目指します。



足首アシスト装置
CoCoroeAAD



バイオメディカルロボット
MOTOMAN-CSDA10F



持続可能な開発目標 (SDGs)

国際社会が取り組むべき社会的課題として、2015年9月に「持続可能な開発目標 (SDGs)」が国連総会で採択されました。SDGsの17の開発目標のうち、当社事業が関連する目標について、価値創造を通してその達成に寄与していきます。

●株式の状況 (2020年8月31日現在)

■発行済株式の総数 266,690 千株

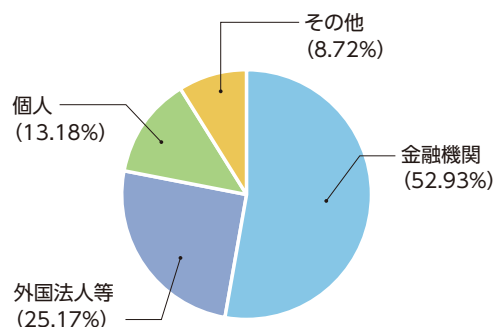
■株主数 61,617 名

■大株主の状況

大株主(上位10位)	持株数	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	35,324千株	13.45%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	24,816千株	9.45%
株式会社みずほ銀行 (常任代理人 株式会社日本カストディ銀行)	8,100千株	3.09%
明治安田生命保険相互会社 (常任代理人 株式会社日本カストディ銀行)	7,774千株	2.96%
株式会社日本カストディ銀行 (三井住友信託銀行退職給付信託口)	7,439千株	2.83%
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT (常任代理人 香港上海銀行東京支店 カストディ業務部)	5,552千株	2.11%
株式会社日本カストディ銀行 (三井住友信託銀行再信託分・株式会社福岡銀行退職給付信託口)	5,100千株	1.94%
株式会社日本カストディ銀行(信託口7)	4,730千株	1.80%
株式会社日本カストディ銀行(信託口5)	4,491千株	1.71%
第一生命保険株式会社 (常任代理人 株式会社日本カストディ銀行)	4,199千株	1.60%

(注)持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

■所有者別株式分布状況



■配当金情報

第105期(自2020年3月1日 至2021年2月28日)配当について		
中間配当	1株につき	12円
期末配当	1株につき	12円(予想)
年間	1株につき	24円(予想)

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会開催月/配当金受領株主確定日	5月/毎年2月末日および8月31日
公告方法	電子公告 (https://www.yaskawa.co.jp/ir/)
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社

■未払い配当金のお支払い

みずほ信託銀行・みずほ銀行の本店および全国各支店にてお支払いいたします。

※みずほ証券の本店および全国各支店においても、取次ぎをいたします。

■住所変更、単元未満株式の買取・買増請求、配当金受取方法のご指定、確定申告、相続に伴うお手続き、マイナンバーのお届出等

証券会社に口座をお持ちの株主さま 口座を開設されている証券会社にお問い合わせください。

証券会社に口座をお持ちでない株主さま(特別口座に記録されている株主さま) 下記連絡先にお問い合わせください。

●みずほ信託銀行 証券代行部 フリーダイヤル 0120-288-324

■お問い合わせ先

〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

フリーダイヤル
0120-288-324

オフィシャルサイト、YASKAWAレポートのご案内

<https://www.yaskawa.co.jp/>

最新のニュースやIR情報、製品情報など当社をご理解いただくためのさまざまな情報をご提供しています。

安川電機

検索



QRコード

QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。



株主・投資家情報をクリック



統合報告書
[YASKAWAレポート]



YASKAWAレポート2020

本統合報告書は、当社グループが長年にわたり積み上げてきた経営資源や独自の強みをどのように生かし、持続的な成長を実現していくのか、経営陣へのインタビューや現場への取材記事などを交え、様々な側面からご理解いただけるよう心がけて編集しております。ぜひご覧ください。

本冊子に記載の数値は切り捨て、比率については四捨五入しており、決算補足資料など他資料と異なる場合がありますので、ご了承ください。